

八王子市学校施設長寿命化計画

令和3年(2021年)3月

八王子市教育委員会

目次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1.1. 背景	1
1.2. 目的	1
1.3. 計画期間	2
1.4. 対象施設	2
2. 学校施設の目指すべき姿	3
3. 学校施設の実態	4
3.1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	4
3.1.1. 対象施設一覧	4
3.1.2. 児童・生徒数と学校施設の配置状況	7
3.1.3. 投資的経費の推移	10
3.1.4. 学校施設の保有量	11
3.1.5. 今後の維持・更新コスト（従来型）	11
3.2. 学校施設の老朽化状況の実態	12
3.2.1. 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	12
3.2.2. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	17
4. 学校施設整備の基本的な方針等	18
4.1. 学校施設整備の基本方針	18
4.2. 学校施設の規模・配置計画等の方針	18
4.3. 長寿命化の方針	18
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	20
5.1. 改修の整備水準	20
5.2. 維持管理の項目・手法等	21
6. 長寿命化の実施計画	22
6.1. 実施計画策定に向けての考え方	22
6.2. 長寿命化の効果、コストの見通し	22
7. 長寿命化計画の継続的な運用方針	23
7.1. 施設情報の整備	23
7.2. 推進体制等の整備	23
7.3. フォローアップ	23
施設情報一覧	24

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1.1. 背景

本市の学校施設は昭和 40 年代から 50 年代の人口増加に伴い集中的に整備してきました。さらに平成に入ってから、多摩ニュータウンや八王子ニュータウンの開発に伴って新たに整備したこともあり、現在では学校施設が全公共施設面積の約 6 割を占めています。

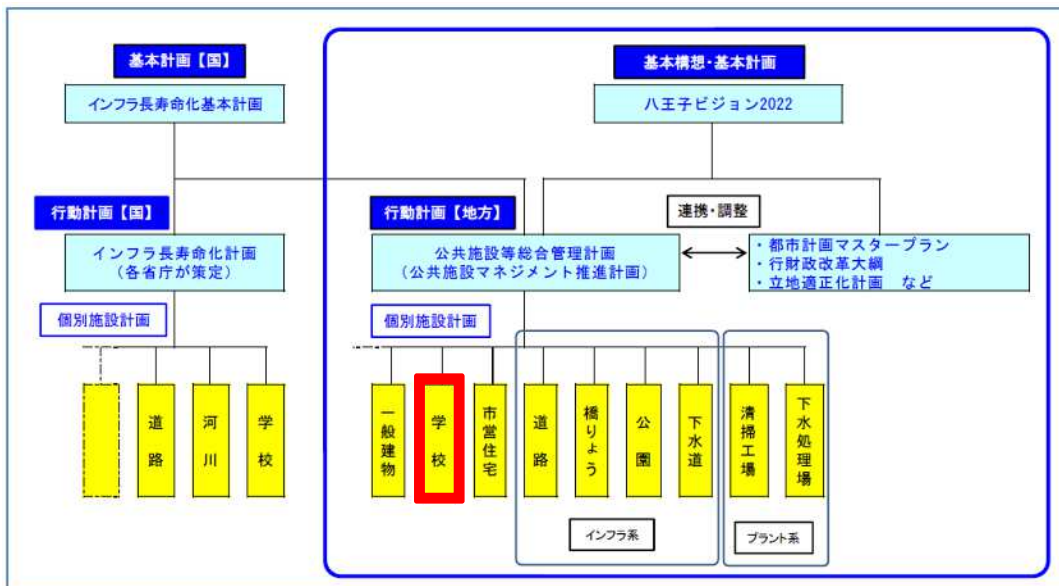
一方で、児童・生徒数については昭和 60 年前後をピークに、以降は減少し、現在もゆるやかに減少を続けているものの、学校数はピーク時からほとんど減少していません。限られた予算を効率的に執行していくために、今後は学校規模の適正化を踏まえ、現状保有している施設を適切に維持管理することが必要となります。

特に築 40 年以上を経過している学校施設は約 6 割を占めており老朽化の進行は著しいものとなっています。また、集中的に整備した施設が一斉に改修時期を迎えることもあり、改築・改修に多額の費用が必要となることから、計画的な更新が課題となっています。

1.2. 目的

「八王子市学校施設長寿命化計画（以下、「本計画」という）」は、施設の老朽化度・課題を適切に把握し、事後保全から予防保全へと転換することで、施設の機能・設備を良好な状態に保ち、さらに、施設の長寿命化を行うことで、財政負担の抑制・平準化を図り、児童・生徒にとって良好な学習環境を維持管理・向上していくことを目的とします。

なお、本計画は「八王子市公共施設等総合管理計画（平成 29 年（2017 年）3 月策定）」に基づく学校施設の個別施設計画として位置付けるものです。



図表 1-1 学校施設長寿命化計画の位置付け

1.3. 計画期間

令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの10年間とし、5年程度を目安に内容を見直します。ただし、本計画に影響を及ぼすような他の計画が策定された時、また、社会情勢や教育環境の変化などにより見直しが必要となった場合はこの限りではありません。

1.4. 対象施設

本計画では八王子市教育委員会が所掌する以下の学校教育施設を対象とします。

高尾山学園は一つの施設を小学部・中学部で使用しているため、施設数としては中学校1校で計上します。

学校教育施設	施設数
小学校	68校 高尾山学園小学部を除く
中学校	37校 高尾山学園中学部を含む
義務教育学校	1校
学校給食共同調理場	2施設 令和6年度(2024年)までに上記2施設を含む計5施設を整備予定

図表 1-2 対象施設

2. 学校施設の目指すべき姿

本市では、第3次八王子市教育振興基本計画である「ビジョンはちおうじの教育（令和2年（2020年）3月策定）」において、教育の目標や方向性を明らかにするとともに、それらを実現するための施策を示しています。良好な教育環境を整備することはもとより、「ビジョンはちおうじの教育」のなかでも、児童・生徒数の減少と学校施設のあり方については、検討しなければならない課題として挙げており、将来を見据えた学校施設の計画的な更新が必要となっています。

学校は児童・生徒が多く時間を過ごす場であるため、安全・安心な環境であることが前提となります。本市では平成25年度（2013年度）に学校施設の耐震化が完了して以降は、外壁や屋上防水、トイレなど箇所別に劣化が著しい部分を改修する事後保全的な対応をとっています。しかし、今後は不具合の発生を未然に防ぐ予防保全へと転換することで、長期的な視点で費用負担を抑えることが可能となるため、本計画に基づいた計画的な改築・改修を行います。その際には教育的・社会的ニーズに即して、多様な学習内容・学習形態に対応できるように、少人数教室やICT化などの多機能な教育環境の整備を行います。また快適な学習環境・生活環境の確保に向けた空調設備の設置、トイレにおける洋便器への切替えやセンサー方式による照明・自動水栓などの整備、また障害の有無に依らないバリアフリー化に配慮した施設整備を進めます。

また、学校教育を行う上では、学校規模の大小により、学習面、生活面、教育指導面、学校運営面などに様々な長所・短所が生じてまいります。そのため、学校、保護者及び地域住民の意見などを基に様々な視点から学校施設の在り方について検討し、学校の適正規模化を図ります。

さらに、学校施設は子どもの学び場であるとともに、地域コミュニティや防災拠点としての重要な役割も担っています。そのため、改築・改修を行う際には地域づくりの視点を考慮して、多機能化や他の公共施設との複合化を進めます。

3. 学校施設の実態

3.1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

3.1.1. 対象施設一覧

本市には、小学校 68 校、中学校 37 校、義務教育学校 1 校の合計 106 校及び学校給食共同調理場 2 施設があり、延べ床面積としては約 68.5 万㎡を保有しています。

名称			建築 年度	延べ床面積 (㎡)
小学校	1	第一小学校	S40	6,367
	2	第二小学校	S33	6,476
	3	第三小学校	H22	8,203
	4	第四小学校	S43	6,127
	5	第五小学校	S39	6,890
	6	第七小学校	H16	9,302
	7	第八小学校	S40	4,826
	8	第九小学校	S40	6,499
	9	第十小学校	S44	6,466
	10	中野北小学校	S42	4,193
	11	清水小学校	S49	6,153
	12	大和田小学校	S46	6,265
	13	小宮小学校	S49	6,676
	14	高倉小学校	S56	6,439
	15	宇津木台小学校	S56	6,031
	16	横山第一小学校	S44	6,059
	17	横山第二小学校	S42	6,319
	18	散田小学校	S38	6,698
	19	長房小学校	S44	6,591
	20	船田小学校	S48	6,929
	21	館小学校	S49	6,431
	22	山田小学校	S51	5,534
	23	櫛田小学校	S52	5,688
	24	緑が丘小学校	S55	5,676
	25	元八王子小学校	S41	6,202
	26	元八王子東小学校	S45	6,016

名称		建築 年度	延べ床面積 (㎡)	
小学校	27	上巻分方小学校	S49	6,579
	28	城山小学校	S51	6,357
	29	式分方小学校	S53	5,731
	30	横川小学校	S54	6,290
	31	恩方第一小学校	S48	4,753
	32	恩方第二小学校	S51	3,123
	33	元木小学校	S52	4,726
	34	川口小学校	S45	5,457
	35	陶鎔小学校	S42	5,901
	36	上川口小学校	S50	3,823
	37	美山小学校	S45	3,271
	38	檜原小学校	S51	4,935
	39	松枝小学校	S54	5,217
	40	加住小学校	S46	6,205
	41	由井第一小学校	S40	7,947
	42	由井第二小学校	S42	4,693
	43	由井第三小学校	S44	5,435
	44	長沼小学校	S47	6,136
	45	片倉台小学校	S50	5,861
	46	高嶺小学校	S52	6,291
	47	みなみ野小学校	H8	7,640
	48	みなみ野君田小学校	H18	7,910
	49	七国小学校	H14	9,033
	50	浅川小学校	S43	7,140
	51	東浅川小学校	S51	6,292
	52	由木中央小学校	S49	7,453
	53	由木東小学校	S46	7,038
	54	由木西小学校	S50	4,000
	55	鹿島小学校	S50	5,215
	56	松が谷小学校	S50	5,221
	57	中山小学校	S54	4,157
	58	柏木小学校	S57	5,616
	59	南大沢小学校	S59	6,232

名称		建築 年度	延べ床面積 (㎡)	
小学校	60	宮上小学校	S63	6,273
	61	秋葉台小学校	H1	6,224
	62	別所小学校	H3	6,322
	63	愛宕小学校	H5	5,332
	64	松木小学校	H5	5,747
	65	下柚木小学校	H6	5,836
	66	上柚木小学校	H6	6,683
	67	長池小学校	H8	6,658
	68	鑓水小学校	H9	7,136
中学校	1	第一中学校	S41	7,606
	2	第二中学校	S42	7,725
	3	第四中学校	S37	7,270
	4	第五中学校	H22	7,769
	5	第六中学校	S47	6,379
	6	第七中学校	S49	7,560
	7	ひよどり山中学校	S52	4,794
	8	甲ノ原中学校	S55	5,360
	9	石川中学校	S57	6,891
	10	横山中学校	H21	7,361
	11	長房中学校	S48	7,480
	12	館中学校	S49	5,705
	13	梶田中学校	S52	7,287
	14	元八王子中学校	S43	7,913
	15	四谷中学校	S50	6,776
	16	横川中学校	S54	4,857
	17	城山中学校	S57	5,750
	18	恩方中学校	S48	6,070
	19	川口中学校	S41	7,312
	20	檜原中学校	S51	5,768
	21	加住中学校	S47	4,823
	22	由井中学校	S40	6,651
	23	打越中学校	S48	7,462
	24	みなみ野中学校	H8	7,340

名称			建築 年度	延べ床面積 (㎡)
中学校	25	七国中学校	H14	8,125
	26	浅川中学校	S44	5,820
	27	陵南中学校	S59	7,324
	28	由木中学校	S50	7,062
	29	松が谷中学校	S50	6,678
	30	中山中学校	S54	6,889
	31	南大沢中学校	S57	7,087
	32	宮上中学校	S63	7,360
	33	別所中学校	H1	6,382
	34	上柚木中学校	H5	7,325
	35	松木中学校	H5	7,280
	36	鎌水中学校	H9	7,378
	37	高尾山学園	S49	5,441
義務教育学校	1	いずみの森義務教育学校	R2	16,332
学校給食共同調理場	1	学校給食センター元八王子	R1	1,909
	2	学校給食センター南大沢	R1	1,710
	3	(仮称)学校給食センター(元横山)	R3(予定)	-
	4	(仮称)学校給食センター(檜原)	R5(予定)	-
	5	(仮称)学校給食センター(寺田)	R6(予定)	-

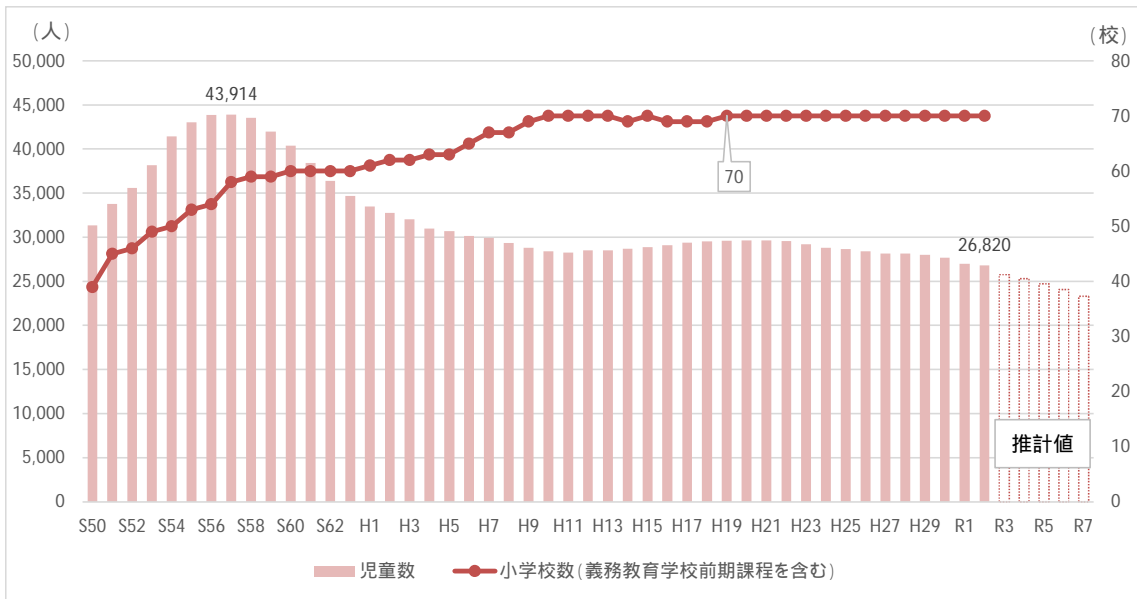
建築年度は最も古い建物の年度

図表 3-1 対象施設一覧(令和3年(2021年)3月現在)

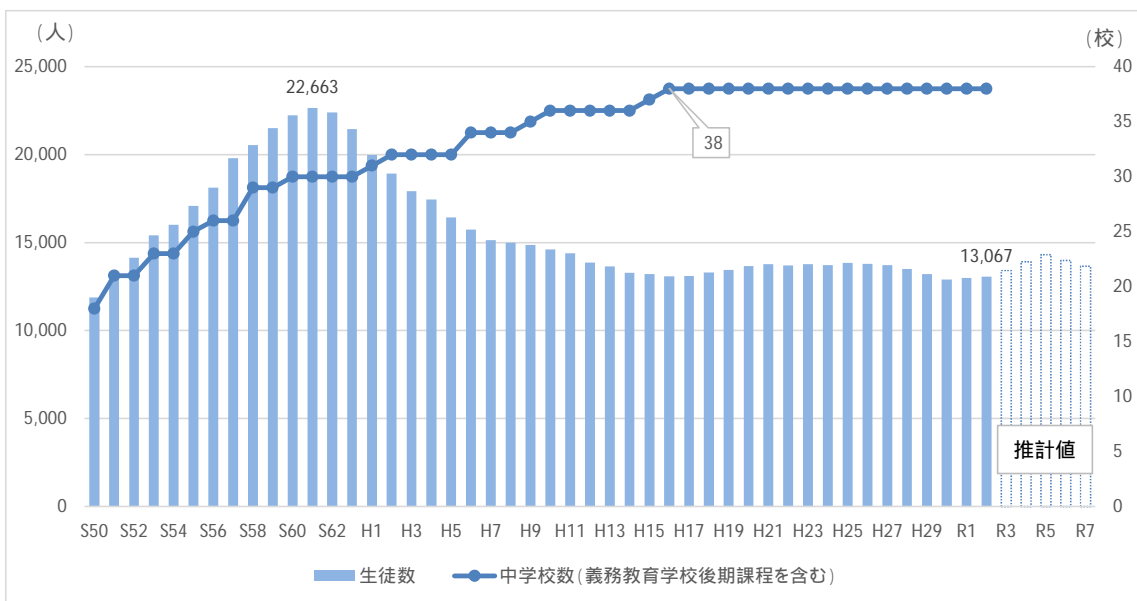
3.1.2. 児童・生徒数と学校施設の配置状況

本市の児童数(小学生)は、昭和57年度(1982年度)をピークに減少し、令和2年度(2020年度)には26,820人(ピーク時の61.1%)となっています。また、生徒数(中学生)は、昭和61年度(1986年度)をピークに減少し、令和2年度(2020年度)には13,067人(ピーク時の57.7%)となっています。全市的には、令和3年度(2021年度)以降もゆるやかな減少傾向が続くと推測されます。

学校数については児童・生徒数がピークを越えてからも増加しています。これは、多摩ニュータウンや八王子ニュータウンの開発に伴う局所的な人口増加があり、多数の新設校を建設したためです。しかし、各ニュータウン地域においても、すでに多くの地域で児童・生徒数は減少に転じています。また一方で、児童・生徒数の減少に伴う学校数の削減は2校にとどまっており、学校の適正規模化・再編が課題となっています。



図表 3-2 児童数及び小学校数（それぞれ義務教育学校前期課程を含む）の推移



図表 3-3 生徒数及び中学校数（それぞれ義務教育学校後期課程を含む）の推移

また、学級数については、学校教育法施行規則において、原則、小学校及び中学校は 12 から 18 学級を標準とするものと定められています。本市では「市立小・中学校の適正配置に関する基本方針（平成 21 年（2009 年）1 月策定）」の中で、図表 3-4 に示すように学級数に応じて学校規模を過小規模から過大規模に区分しています。

近年では児童・生徒数の減少が著しい学区も増えており、小規模に該当する学校は小学校 23 校、中学校 14 校あり、その内、全学年が単学級となっている学校は小学校 10 校、中学校 2 校あります。小規模に該当する学校については、通学環境や地域の実情を考慮しながら適正規模化・再編を検討する必要があります。

令和 2 年（2020 年）5 月 1 日現在

学校規模	過小規模	小規模	望ましい規模に準ずる規模	望ましい規模	望ましい規模に準ずる規模	大規模	過大規模
小学校	~5 学級	6~11 学級 (内数:単学級)		12~18 学級	19~24 学級	25~30 学級	31~学級
	-	23 校 (10 校)		38 校	7 校	1 校	-
中学校		3~8 学級 (内数:単学級)	9~11 学級	12~18 学級		19~30 学級	31~学級
		14 校 (2 校)	8 校	15 校		-	-

小学校及び中学校はそれぞれ義務教育学校前期課程及び後期課程を含む
高尾山学園は除く

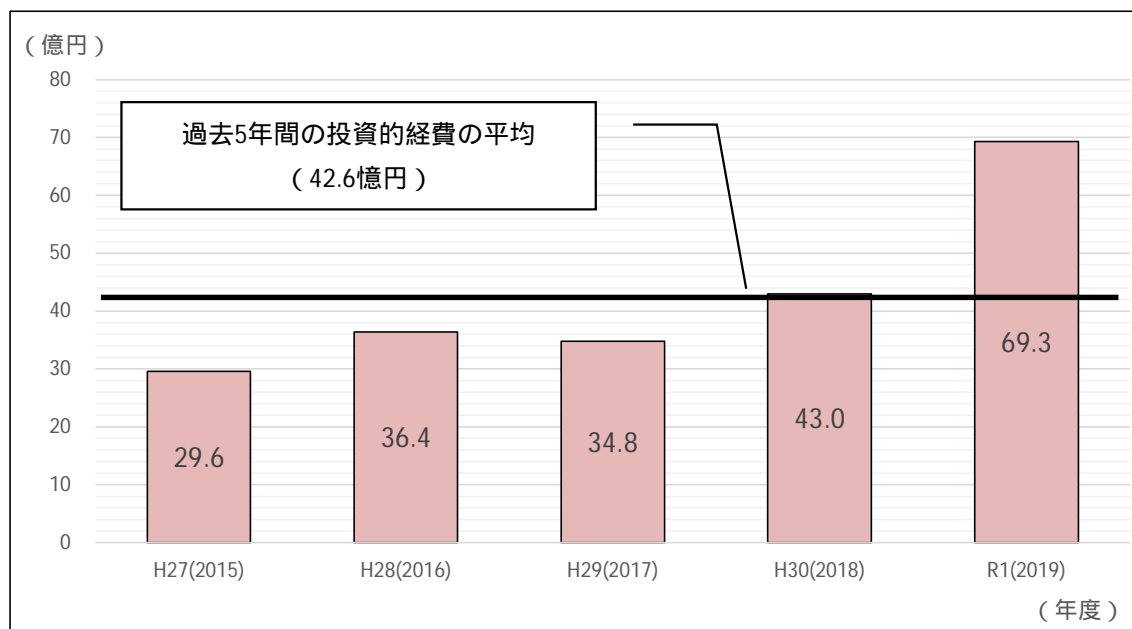
図表 3-4 学校規模の区分

3.1.3. 投資的経費の推移

学校施設の整備に係る投資的経費は、平成 27 年度（2015 年度）から令和元年度（2019 年度）の 5 年間で約 30 億から 70 億円、年平均 42.6 億円となります。令和元年度（2019 年度）の投資的経費が各年度と比較して突出している理由としては、いずみの森義務教育学校及び学校給食共同調理場 2 施設の建設工事の実施年度に当たるためです。

本市では、平成 25 年度（2013 年度）に学校施設の構造体の耐震化は完了しており、平成 26 年度（2014 年度）以降は、二次災害を防ぐための非構造部材（外壁・建具・天井材等）の落下防止対策や、教育環境の質的な向上を図るための空調設備設置、トイレ洋式化などの部分改修が主な事業となっています。

一方で、改築については、いずみの森義務教育学校が校庭整備を残して完了したものの、建替え時期を迎えている施設に対して更新が追い付いていない現状があります。

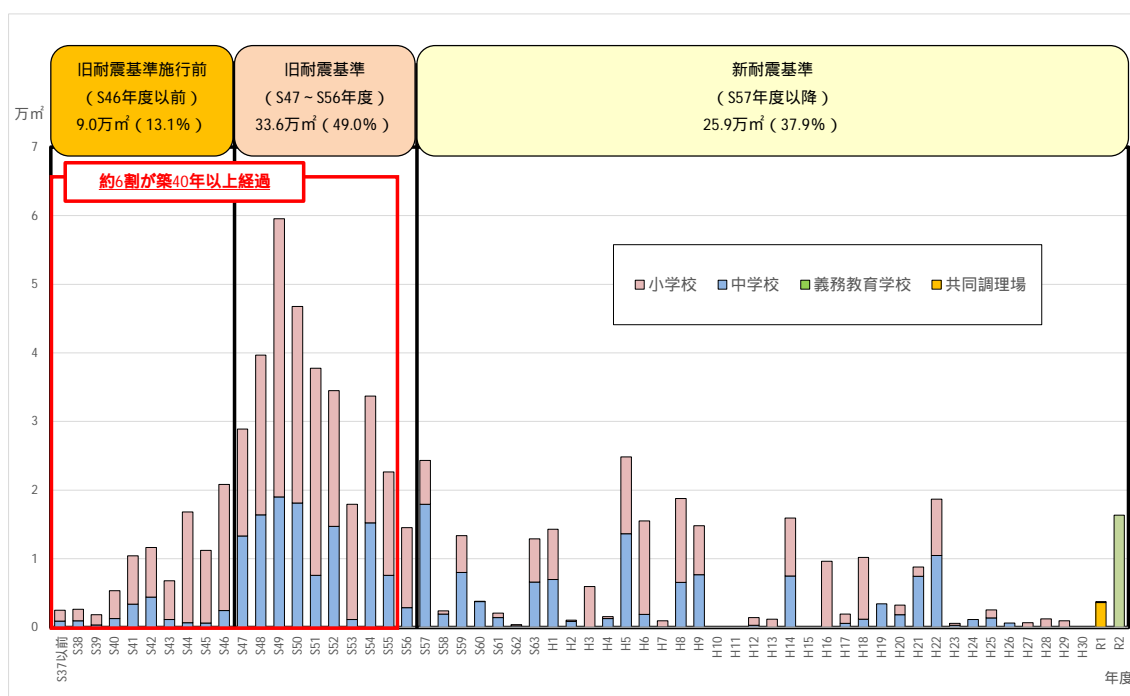


図表 3-5 過去 5 年間の投資的経費

3.1.4. 学校施設の保有量

本市の学校施設は昭和 40 年代から 50 年代にかけての児童・生徒の増加に伴い集中的に整備してきました。新耐震基準施行（昭和 56 年 6 月 1 日）以前の建物は学校施設全体の 6 割を超えていますが、それらの施設については耐震診断を実施し、必要に応じた補強工事を行っており、平成 25 年度（2013 年度）までに耐震化を完了しています。

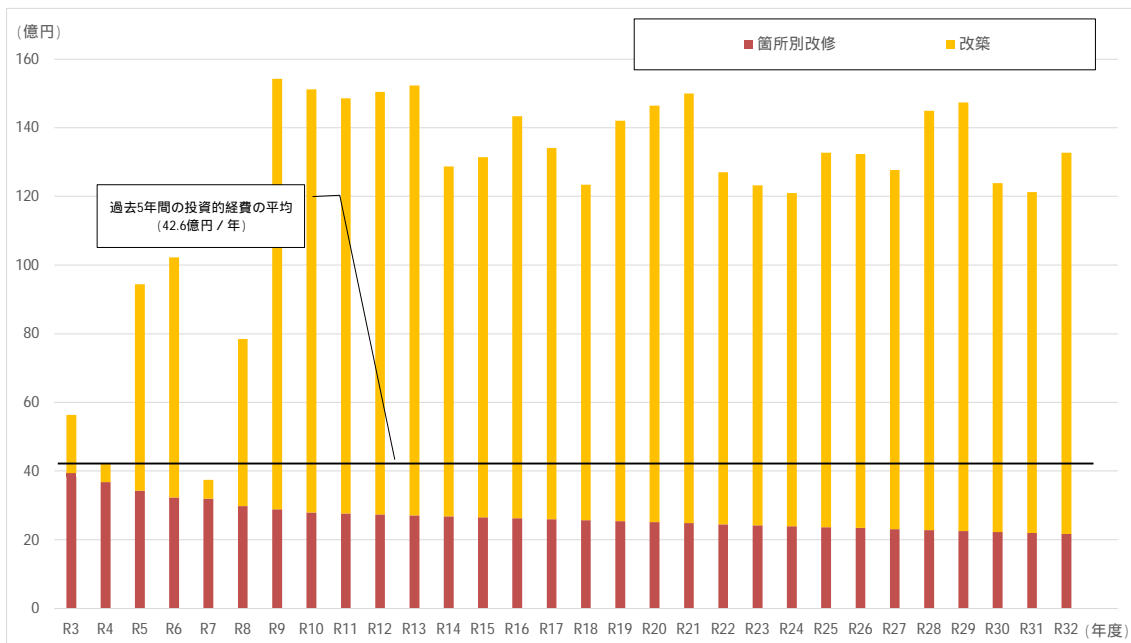
しかし、一方で学校施設全体の約 6 割に当たる約 41.1 万㎡が築 40 年以上を経過しており、老朽化の進行は著しいものとなっています。集中的に整備された多くの学校施設が改築・改修の時期を一斉に迎えるため、多額の施設整備費が必要となることから、財政平準化の観点からも計画的な施設の更新が求められています。



図表 3-6 学校施設の保有状況（令和 3 年（2021 年）3 月現在）

3.1.5. 今後の維持・更新コスト（従来型）

従来の方針である築 65 年での建替えを続けた場合、今後 30 年間のコストは 3,701 億円（123.4 億円 / 年）かかります。これは過去 5 年間の投資的経費の平均 42.6 億円をおよそ 2.9 倍上回ることになるため、このまま建替え中心の整備を継続することは非常に困難です。そこで、今後は長寿命化できる施設を選別した上で、計画的な長寿命化を進めることとします。多くの学校施設の目標使用年数を 65 年から 80 年に延命し、改築の時期を遅らせることで、財政負担の抑制・平準化を図ります。



図表 3-7 学校施設の維持・更新コスト（従来型）

3.2. 学校施設の老朽化状況の実態

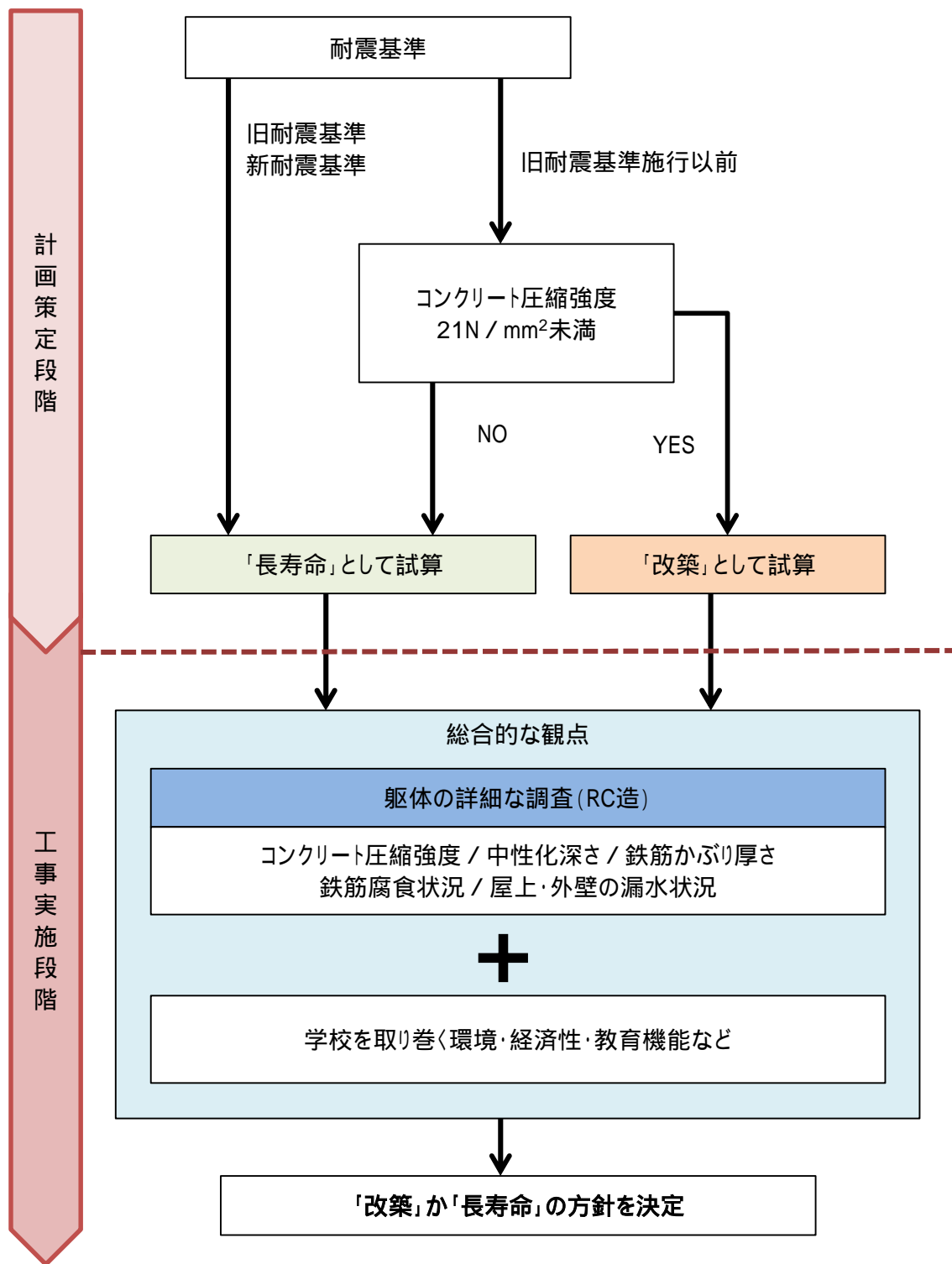
3.2.1. 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

本計画を作成するにあたり、学校施設の老朽化状況を把握するために、構造躯体の健全性及び構造躯体以外の劣化状況の評価します。なお、改築事業を進めている第二小学校及び第四中学校については評価対象施設から除くこととします。

構造躯体の健全性

今後の維持・更新コストの試算における「改築」と「長寿命改修」の区分を明らかにするために、まずは過去に実施した耐震診断報告書等を基に、長寿命改修に適さない可能性のある建物を簡易に選別します。「改築」として試算する基準としては、旧耐震基準施行（昭和46年1月1日）以前に建てられた建物を有する、かつ、コンクリート圧縮強度が 21N/mm^2 未満のものを対象とします。以下に長寿命化の判定フローを示します。

なお、実際に工事の実施段階においては、躯体の詳細な調査に加え、学校を取り巻く環境・経済性・教育機能などの総合的な観点から「改築」か「長寿命改修」の方針を決定することとします。



図表 3-8 長寿命化の判定フロー


構造躯体以外の劣化状況

構造躯体以外の劣化状況については、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ（天井・内壁・床など）」「電気設備」「機械設備」の5つの項目に分類して評価します。「屋根・屋上」「外壁」については建築基準法第12条に基づく点検結果や目視による調査によって評価し、また、「内部仕上げ」「電気設備」「機械設備」については建築年度、または改修工事の実施年度からの経過年数によって評価します。各項目をA、B、C、Dの4段階で分類し、健全度として100点満点で数値化した評価指数を算定します。各項目の評価方法・評価基準については以下に示します。

評価方法

「屋根・屋上」「外壁」・・・目視による評価

評価	基準
A	改築・改修後10年以内のものや汚れている程度
B	部分的に劣化が見られるが、安全上・機能上において問題ない
C	広範囲に劣化が見られ、安全上・機能上において不具合発生の兆しがある
D	早急に対応する必要がある ・安全上・機能上問題がある ・躯体の耐久性に影響を与えている



「内部仕上げ」「電気設備」「機械設備」・・・経過年数による評価

評価	基準
A	10年以内
B	11～30年
C	31～50年
D	51年以上



評価基準

健全度の算定方法については、文部科学省が公表している「学校施設の長寿命化に係る解説書」に基づき設定しています。

部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60.0

健全度

総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60

100点満点にするためにコスト配分の合計値（60）で割っています。

健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

（健全度計算例）

部位	評価	評価点	×	コスト配分	=	
屋根・屋上	C	40	×	5.1	=	204
外壁	D	10	×	17.2	=	172
内部仕上げ	B	75	×	22.4	=	1680
電気設備	A	100	×	8.0	=	800
機械設備	C	40	×	7.3	=	292
合計						3148
						÷60
健全度						52

評価

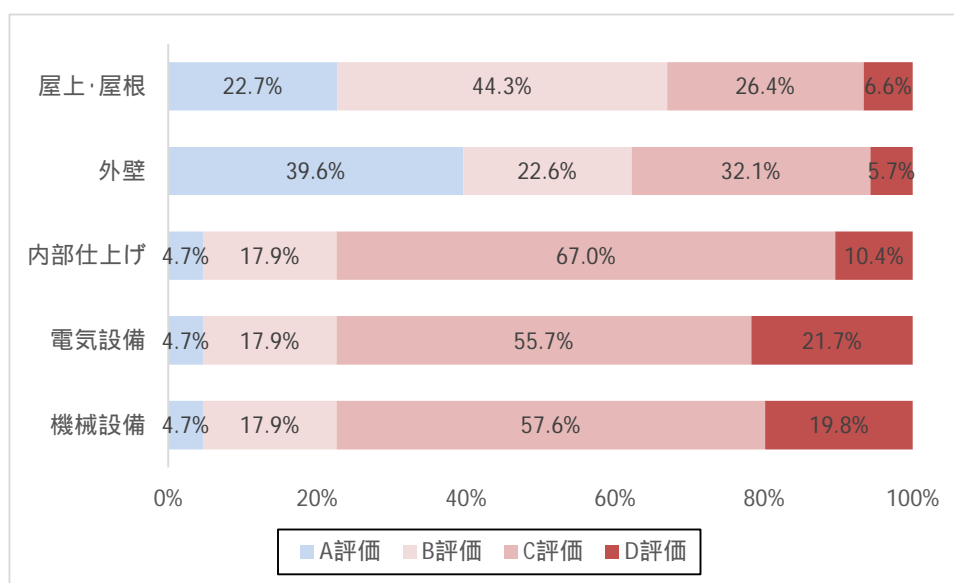
学校施設の部位別評価・健全度の評価結果を以下に示します。

「屋上・屋根」「外壁」については、順次改修工事を行っているため、それぞれB評価以上が「屋上・屋根」は67.0%、「外壁」は62.2%となっており築年数から考えると比較的高い水準となっています。それらは劣化による剥落の危険性もあるため、安全性の確保という点でも積極的に改修を行っています。

「内部仕上げ」については、改修する際に工事エリアが児童・生徒の動線と重なるため、基本的に長期休業期間を中心に行っています。そのため、休業期間に合わせて工期を設定す

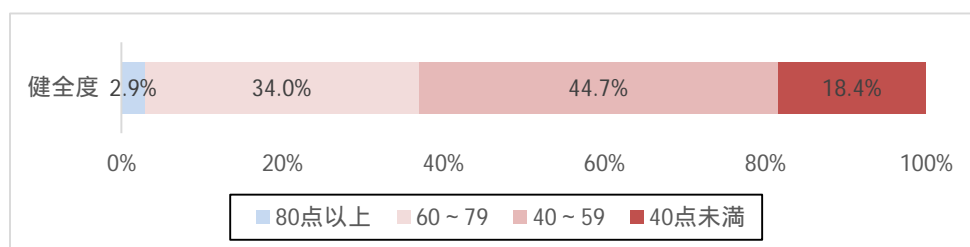
る必要があるため工期の制約が厳しく、大規模な改修は困難な現状があります。その結果、安全上問題があるものについては適宜、部分的な修繕・改修で対応しているものの、全体的に劣化は進んでいます。「電気設備」「機械設備」に関しては、使用上の不具合が生じない限りは積極的に改修を行っていないため、築年数相応の劣化がみられ、C評価以下がどちらも7割以上を占めています。

D評価の項目、特に外壁や内部仕上げなど安全性に影響があるものについては、改修・修繕を行うか、または改築・長寿命化改修の時期を早めるなどにより早急な対応を検討します。



図表 3-9 部位別の劣化状況

健全度については、文部科学省の基準として40点未満なら優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましいとされています。本市としても、健全度が40点未満の学校施設については早期に対応するとともに、評価結果を踏まえて計画的・効率的に改修を行います。

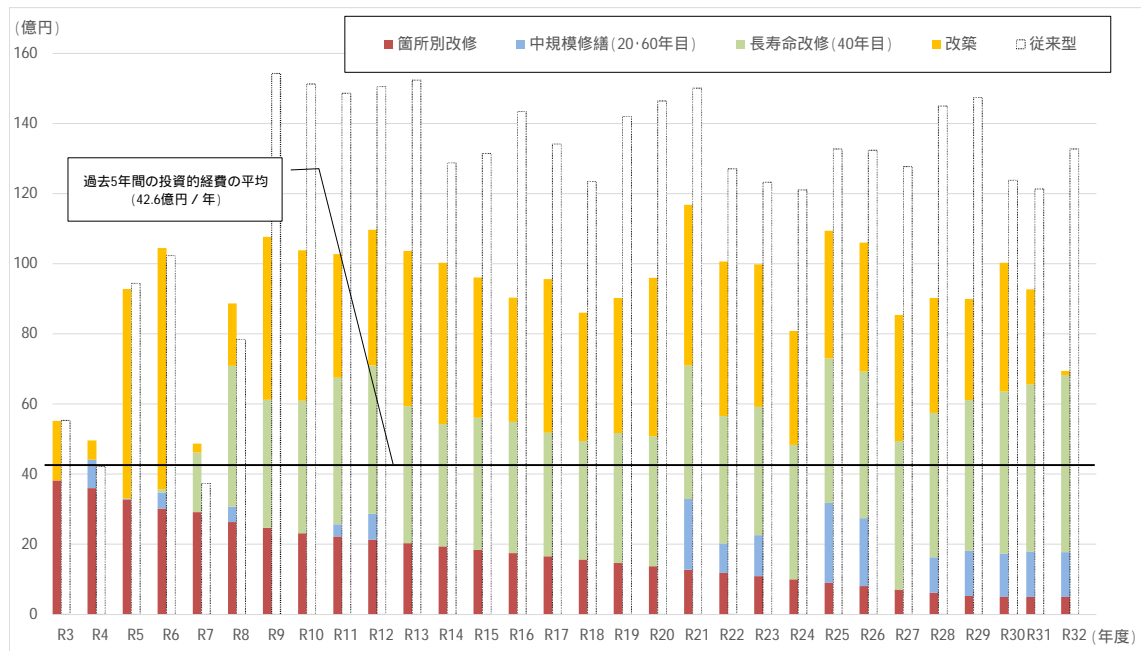


図表 3-10 健全度

3.2.2. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

前述した学校施設の劣化状況評価をもとに、長寿命化改修の順序を決定します。改修順については、建築年度及び劣化状況を基に決めているため、劣化の進度に応じて変更するものとしします。

長寿命化改修により築 80 年程度で建替える場合、今後 30 年のコストは 2,763 億円(92.1 億円 / 年)となります。従来の築 65 年程度で建替える場合の 3,701 億円(123.4 億円 / 年)と比較して 25.3%の縮減となります。ただし、過去 5 年間の投資的経費の平均 42.6 億円に対しては 2.2 倍のコスト負担となるため、長寿命化を図るだけでは、まだ財政負担が過大となってしまいます。



図表 3-11 学校施設の維持・更新コスト（長寿命化型）

4. 学校施設整備の基本的な方針等

4.1. 学校施設整備の基本方針

本計画の上位計画である「八王子市公共施設等総合管理計画（平成 29 年（2017 年）3 月策定）」に基づき、改築・改修の基本方針を定めます。

< 今後のマネジメントの取組方針 >

- ・ 改築・改修の計画を長期的視点から策定し、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに財政負担の平準化を図る
- ・ 予防保全の観点から計画的な修繕を進める
- ・ 他の施設との複合化を図るなど、社会情勢の変化に応じた地域コミュニティの拠点となるような整備を進める
- ・ 「市立小・中学校の適正配置に関する基本方針（平成 21 年（2009 年）1 月策定）」に基づき、教育環境の整備・充実を図る
- ・ 小規模校については今後の在り方に加え、更新時期等を考慮した学校再編を進める
- ・ 児童・生徒数に見合っていない規模の施設については減築も検討する
- ・ 余裕教室は他用途への転用を積極的に検討する
- ・ プールは複数校による共同利用や民間プールの活用を検討する

4.2. 学校施設の規模・配置計画等の方針

「市立小・中学校の適正配置に関する基本方針（平成 21 年（2009 年）1 月策定）」に基づき、対象となる地域・学校を選定し、市民との合意形成を図りながら適正規模化・再編を進めます。

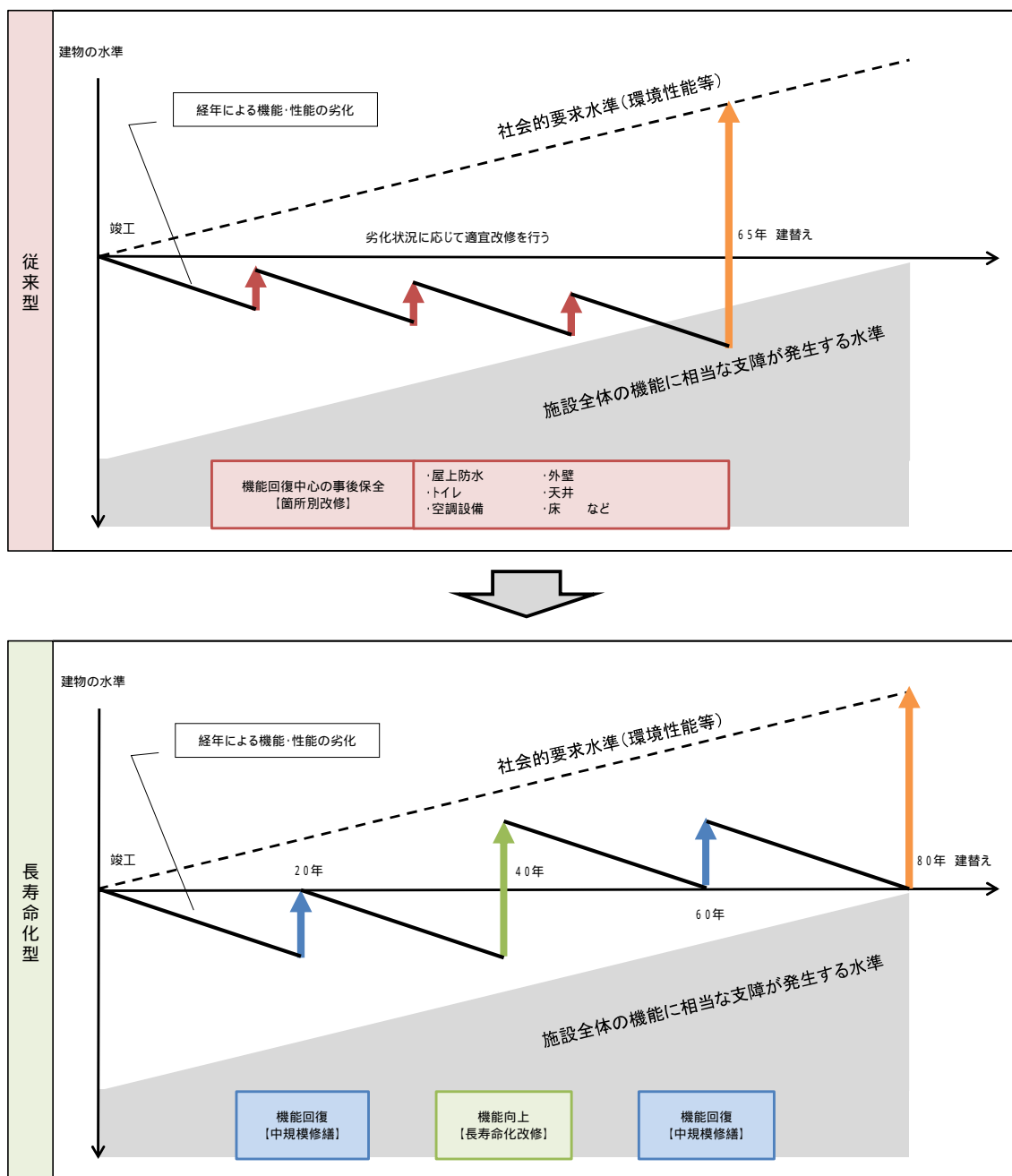
学校規模については、地域の実情を考慮することが前提ではありますが、学習・生活面、教育指導面、学校運営面の観点から、図表 3-4 で示した通り 12 学級から 18 学級までを望ましい規模としています。

また、適正規模化・再編を検討するにあたり、通学距離・通学時間への配慮も必要です。本市では、小学校・中学校ともに概ね 30 分程度、距離にして徒歩 2km 程度を上限として望ましい範囲と考えています。

4.3. 長寿命化の方針

従来は、65 年程度を建替えの基準として、箇所毎の劣化状況に応じて部分的な改修を行う事後保全的な管理をしていました。事後保全とは、建物の劣化や破損、設備の故障など不具合が生じてから改修を行う考え方で、この場合、躯体の劣化が進む大きな原因になることや、また、設備の長期間における使用が困難となるなどの恐れがあります。

今後は、学校施設を安全で良好な状態に維持するために20年ごとに中規模修繕・長寿命化改修を行う予防保全への転換を目指します。予防保全により、施設に不具合が発生する前に定期的な改修を行うことで、突発的な事故や費用負担を未然に防ぐことができます。また、計画的に改修を行うため、維持管理・更新費用の平準化を図ることができます。さらに、併せて定期的な点検を行うことにより、事後保全と比較すると、予防保全による維持管理は施設を長く使用できると考えられます。



図表 4-1 改修周期の考え方（従来型・長寿命化型）

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5.1. 改修の整備水準

長寿命化改修に際しては、単に施設の機能回復を図るのではなく、社会的要求水準を考慮して快適性・利便性を持たせるとともに、耐久性・省エネルギー性に優れた材料への取り換えを行い、施設の機能向上を図ります。

(1) 耐久性

耐久性を確保するために、鉄筋コンクリート造の場合であれば、コンクリートの中酸化対策、構造クラック対策、鉄筋の腐食対策、鉄筋のかぶり厚さの確保を躯体の状態に応じて実施します。鉄骨造であれば鉄骨の腐食対策や接合部の破損補修を行います。非構造部材については内外装ともに耐久性に優れた材料を使用することで、長期間の使用における維持修繕費を抑えることも検討することとし、また、電気配線や給排水管は全面撤去の上で維持管理の容易性を考慮した更新を行い、建物の安全性維持の確保を図ります。

(2) 機能性

機能面については、必要に応じて社会的ニーズを取り入れる必要があります。現在であれば、トイレ洋式化や全教室への空調設備の設置、ICT環境整備、また、多様な学習環境に対応するために可動間仕切等の設置も必要となります。また、バリアフリー化の観点において、スロープや多目的トイレ、エレベーターの設置は必須であり、さらに、学校施設は避難所として指定されていることから屋内体育施設への空調設備設置やマンホールトイレの整備も必要に応じて行っていきます。

(3) 省エネルギー性

環境への配慮としては、例えば、内外装の改修においては断熱性のある材料を使用する、また設備面においては照明のLED化や人感センサー、節水型トイレを取り入れるなど、適宜新しいシステムや機器の導入を検討します。それによりエネルギー効率の向上及びランニングコストの抑制を図り、環境負荷の低減にも配慮します。

中規模修繕については、主に屋根・屋上及び外壁を対象として、建設時の仕様を基準として機能回復を目的とした整備を行うものとし、

5.2. 維持管理の項目・手法等

学校施設を適切に維持管理するためには、劣化状況を把握するための点検が重要となります。現在、本市の学校施設では以下表に示す点検業務等を委託しています。この点検業務に加えて、市職員の日常業務による目視点検等と併せて劣化状況を整理し、本計画に反映させていきます。

【主な法定点検】

項目	内容	根拠法令
建築基準法第 12 条点検	学校施設の建物及び設備の損傷、腐食 その他劣化状況の点検	建築基準法 12 条第 2 項及び 第 4 項
消防用設備等保守点検	消火器具・屋内消火栓設備・自動火災 報知設備・避難器具・誘導灯・排煙設 備等の点検	消防法第 17 条の 3 の 3
自家用電気工作物保守点検	自家用電気工作物の保守点検	電気事業法第 43 条
簡易専用水道（小規模貯水槽 水道）検査	簡易専用水道（小規模貯水槽水道）に ついて、飲料水の安全と衛生を確保す るための検査	簡易専用水道：水道法第 34 条 の 2 第 2 項 （小規模貯水槽水道：八王子 市小規模貯水槽水道等におけ る安全で衛生的な飲料水の確 保に関する条例第 7 条第 1 項）
昇降機保守点検	乗用エレベーターの保守点検	建築基準法第 12 条第 4 項
空調機器定期点検	空調機器の損傷、摩耗、腐食及びその 他の劣化状況の点検	第一種特定製品の管理者の判 断の基準となるべき事項（平 成 26 年 12 月 10 日付け経済 産業省・環境省告示第 13 号） 第 2 の 2（フロン類の使用の 合理化及び管理の適正化に関 する法律第 16 条第 1 項の規 定に基づく）

【主な法定外点検】

項目	内容	根拠法令
GHP(ガスヒートポンプエア コン)保守点検	GHP の室内機・室外機の保守点検	
プール循環ろ過装置保守点 検	プール循環浄化装置等の保守点検	

図表 5-1 主な点検業務一覧

6. 長寿命化の実施計画

6.1. 実施計画策定に向けての考え方

今後、改築及び長寿命化改修の実施に当たっては、適正規模化・再編後においても使用が見込まれる施設を選定する必要があります（改築であればおよそ 80 年、長寿命化改修であれば 30 年以上）。よって、実施計画の策定に向けて、まずは適正規模化・再編の計画を検討していきます。ただし、老朽化が著しい施設を有する学校や小規模校、特に単学級となっている学校については優先して地域づくりの考えの整理を進め、積極的に改築・長寿命改修を行っていきます。

6.2. 長寿命化の効果、コストの見通し

長寿命化を図ることで、改築と比較して事業費を縮減できるだけでなく、工期の短縮、また、既存施設の解体に伴う廃棄物の発生も少なくなるため、環境面でもメリットがあります。しかし一方で「3.2.2 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）」で示した通り、今後の学校施設の維持管理コストは長寿命化を考慮しても過去 5 年間の投資的経費の 2.2 倍に増加することが見込まれており、コストの削減と財源確保は大きな課題となります。近年の投資的経費の規模と維持管理コストとのかい離を埋めるために、小規模校のあり方の検討やプール施設の集約、PFI などの民間資金の導入、また、他施設との複合化により市内全体で見たときの整備費用の削減など多面的な見直しが必要となります。

7. 長寿命化計画の継続的な運用方針

7.1. 施設情報の整備

本計画を運用していくためには、学校施設の状態を適切に把握することが重要です。そのため、施設の基本情報（構造・規模・建築年など）や改修・修繕履歴、施設の劣化状況、各種点検結果などを集約し、学校カルテとして情報を一元管理します。

7.2. 推進体制等の整備

本計画を推進するにあたり、教育委員会の担当所管における学校施設の継続的・定期的な点検を行うだけでなく、学校や市長部局を含めた全市的な体制で日常的な課題を共有することで連携を図ります。さらに、事業化の際には公民連携の検討も含め、適切・効率的な体制を整備します。

また、改築・改修時期についても財政負担平準化の観点から、他の公共施設の整備状況を考慮し、財政部局と調整したうえで事業を進めていきます。

7.3. フォローアップ

本計画は学校施設の建築年度及び現在の劣化度に応じて、改築・改修の優先順位を設定するものです。今後の事業の進捗状況や社会情勢の変化・要望、適正規模化・再編の内容などに応じて本計画は見直しを図るものとします。

施設情報一覧

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
1	第一小学校	校舎 1	S41.3	4,588	R	旧耐震基準	H12
		校舎 2	S53.3	915	R	旧耐震基準	H13
		体育館	S53.3	738	S	旧耐震基準	H13
		その他	S43.3	126			
			計	6,367			
2	第二小学校	校舎 1	S34.3	3,492	R	旧耐震基準	H24
		校舎 2	S43.9	696	R	旧耐震基準	-
		校舎 3	S47.3	1,519	R	旧耐震基準	H23
		体育館	S43.3	713	S	旧耐震基準	H23
		その他	S49.11	56			
			計	6,476			
3	第三小学校	校舎 1	H22.8	6,694	R	新耐震基準	-
		体育館	H22.8	1,253	R	新耐震基準	-
		その他	H23.9	256			
			計	8,203			
4	第四小学校	校舎 1	S44.1	2,628	R	旧耐震基準	H22
		校舎 2	S45.3	2,066	R	旧耐震基準	H23
		校舎 3	S58.3	449	R	新耐震基準	-
		体育館	S41.11	741	S	旧耐震基準	H22
		その他	S43.12	243			
			計	6,127			
5	第五小学校	校舎 1	S40.3	2,949	R	旧耐震基準	H22
		校舎 2	S49.7	2,969	R	旧耐震基準	-
		体育館	S42.3	750	S	旧耐震基準	H22
		その他	S41.11	222			
			計	6,890			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
6	第七小学校	校舎 1	H17.2	7,657	R	新耐震基準	-
		体育館	H17.2	1,498	R	新耐震基準	-
		その他	H17.2	147			
			計	9,302			
7	第八小学校	校舎 1	S41.3	2,883	R	旧耐震基準	H23
		校舎 2	S54.3	1,047	R	旧耐震基準	-
		体育館	S44.7	639	S	旧耐震基準	H24
		その他	S42.3	257			
			計	4,826			
8	第九小学校	校舎 1	S41.3	5,509	R	旧耐震基準	H24
		体育館	S44.3	741	S	旧耐震基準	H24
		その他	S38.9	249			
			計	6,499			
9	第十小学校	校舎 1	S45.3	5,295	R	旧耐震基準	H23
		体育館	S43.3	741	S	旧耐震基準	H22
		その他	S44.2	430			
			計	6,466			
10	中野北小学校	校舎 1	S46.3	2,046	R	旧耐震基準	H24
		校舎 2	S42.8	1,286	R	旧耐震基準	H24
		体育館	S45.3	741	S	旧耐震基準	H24
		その他	S44.2	120			
			計	4,193			
11	清水小学校	校舎 1	S50.3	5,357	R	旧耐震基準	H10
		体育館	S50.5	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S51.2	97			
			計	6,153			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
12	大和田小学校	校舎 1	S47.3	3,080	R	旧耐震基準	H9
		校舎 2	S50.3	2,056	R	旧耐震基準	H10
		体育館	S48.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S47.3	430			
			計	6,265			
13	小宮小学校	校舎 1	S50.3	5,838	R	旧耐震基準	H11、H12
		体育館	S50.5	761	S	旧耐震基準	H24
		その他	S51.2	77			
			計	6,676			
14	高倉小学校	校舎 1	S57.3	5,547	R	新耐震基準	-
		体育館	S57.3	700	S	新耐震基準	-
		その他	S57.3	192			
			計	6,439			
15	宇津木台小学校	校舎 1	S57.3	5,191	R	新耐震基準	-
		体育館	S57.3	700	S	新耐震基準	-
		その他	S57.3	140			
			計	6,031			
16	横山第一小学校	校舎 1	S45.3	1,826	R	旧耐震基準	H24
		校舎 2	S46.3	3,346	R	旧耐震基準	H23、H24
		体育館	S47.3	742	S	旧耐震基準	H22
		その他	S45.3	145			
			計	6,059			
17	横山第二小学校	校舎 1	S43.3	3,392	R	旧耐震基準	H12
		校舎 2	S50.5	2,061	R	旧耐震基準	H13
		体育館	S45.3	743	S	旧耐震基準	H24
		その他	S52.8	123			
			計	6,319			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
18	散田小学校	校舎 1	S39.3	5,656	R	旧耐震基準	H21
		体育館	S46.3	741	S	旧耐震基準	H21
		その他	S40.12	301			
			計	6,698			
19	長房小学校	校舎 1	S44.9	3,692	R	旧耐震基準	H23
		校舎 2	S48.10	2,062	R	旧耐震基準	H24
		体育館	S46.3	726	S	旧耐震基準	H24
		その他	S45.8	111			
			計	6,591			
20	船田小学校	校舎 1	S49.3	6,111	R	旧耐震基準	H15
		体育館	S49.5	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S49.8	119			
			計	6,929			
21	館小学校	校舎 1	S50.3	5,016	R	旧耐震基準	H14
		校舎 2	H15.3	601	R	新耐震基準	-
		体育館	S50.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S50.3	115			
			計	6,431			
22	山田小学校	校舎 1	S51.5	4,720	R	旧耐震基準	H11
		体育館	S51.9	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S51.5	115			
			計	5,534			
23	梶田小学校	校舎 1	S53.3	4,873	R	旧耐震基準	H14、H15
		体育館	S53.5	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S53.3	116			
			計	5,688			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
24	緑が丘小学校	校舎 1	S55.11	4,360	R	旧耐震基準	H16
		校舎 2	H18.3	522	R	新耐震基準	-
		体育館	S56.2	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S55.11	95			
			計	5,676			
25	元八王子小学校	校舎 1	S42.3	3,618	R	旧耐震基準	H12、H13
		校舎 2	S49.3	1,726	R	旧耐震基準	-
		体育館	S44.3	743	S	旧耐震基準	H22
		その他	S52.3	115			
			計	6,202			
26	元八王子東小学校	校舎 1	S46.3	5,081	R	旧耐震基準	H23
		体育館	S47.3	744	S	旧耐震基準	H23
		その他	S46.3	191			
			計	6,016			
27	上巻分方小学校	校舎 1	S49.8	5,762	R	旧耐震基準	H15
		体育館	S50.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S50.2	118			
			計	6,579			
28	城山小学校	校舎 1	S51.5	4,254	R	旧耐震基準	H14
		校舎 2	S54.3	1,222	R	旧耐震基準	-
		体育館	S51.5	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S51.5	182			
			計	6,357			
29	式分方小学校	校舎 1	S54.3	4,904	R	旧耐震基準	H16
		体育館	S54.5	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S54.3	128			
			計	5,731			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
30	横川小学校	校舎 1	S55.3	4,974	R	旧耐震基準	H10
		校舎 2	S58.3	522	R	新耐震基準	-
		体育館	S55.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S55.3	95			
			計	6,290			
31	恩方第一小学校	校舎 1	S49.3	3,900	R	旧耐震基準	H15
		体育館	S48.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S44.8	154			
			計	4,753			
32	恩方第二小学校	校舎 1	S51.8	2,166	R	旧耐震基準	H17
		体育館	S47.3	676	S	旧耐震基準	H24
		その他	S46.3	281			
			計	3,123			
33	元木小学校	校舎 1	S53.3	3,910	R	旧耐震基準	H11
		体育館	S53.5	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S53.3	117			
			計	4,726			
34	川口小学校	校舎 1	S46.3	2,538	R	旧耐震基準	H14
		校舎 2	S50.3	2,096	R	旧耐震基準	H15
		体育館	S47.3	727	S	旧耐震基準	H24
		その他	S39.3	96			
			計	5,457			
35	陶鎔小学校	校舎 1	S43.3	3,195	R	旧耐震基準	H24
		校舎 2	S53.3	1,795	R	旧耐震基準	H24
		体育館	S45.3	741	S	旧耐震基準	H24
		その他	S54.3	170			
			計	5,901			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
36	上川口小学校	校舎 1	S51.3	2,985	R	旧耐震基準	H17
		体育館	S48.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S49.3	139			
			計	3,823			
37	美山小学校	校舎 1	S46.3	2,389	R	旧耐震基準	H16
		体育館	S48.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S40.6	183			
			計	3,271			
38	檜原小学校	校舎 1	S51.8	4,123	R	旧耐震基準	H13、H14
		体育館	S51.6	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S51.8	113			
			計	4,935			
39	松枝小学校	校舎 1	S55.3	4,346	R	旧耐震基準	H11
		体育館	S55.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S55.5	172			
			計	5,217			
40	加住小学校	校舎 1	S48.3	2,741	R	旧耐震基準	H10
		校舎 2	S46.12	2,429	R	旧耐震基準	H10
		体育館	S45.6	725	S	旧耐震基準	H22
		その他	S40.6	310			
			計	6,205			
41	由井第一小学校	校舎 1	S41.3	4,574	R	旧耐震基準	H23、H24
		校舎 2	S49.3	1,954	R	旧耐震基準	H23
		体育館	H20.8	1,050	R	新耐震基準	-
		その他	S55.1	369			
			計	7,947			
42	由井第二小学校	校舎 1	S43.3	3,906	R	旧耐震基準	H23
		体育館	S47.3	716	S	旧耐震基準	H24
		その他	S36.3	71			
			計	4,693			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
43	由井第三小学校	校舎 1	S52.1	3,691	R	旧耐震基準	H14
		校舎 2	S44.9	772	R	旧耐震基準	-
		体育館	S46.3	741	S	旧耐震基準	H22
		その他	S39.8	231			
			計	5,435			
44	長沼小学校	校舎 1	S48.3	4,988	R	旧耐震基準	H8、H9
		体育館	S48.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S48.5	449			
			計	6,136			
45	片倉台小学校	校舎 1	S51.3	4,930	R	旧耐震基準	H11
		体育館	S51.6	700	S	旧耐震基準	H25
		その他	S51.3	231			
			計	5,861			
46	高嶺小学校	校舎 1	S53.3	5,354	R	旧耐震基準	H17
		体育館	S53.5	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S53.3	238			
			計	6,291			
47	みなみ野小学校	校舎 1	H9.3	5,514	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H9.3	955	R	新耐震基準	-
		体育館	H9.3	996	R	新耐震基準	-
		その他	H9.3	175			
			計	7,640			
48	みなみ野君田小学校	校舎 1	H19.3	5,821	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H19.3	771	R	新耐震基準	-
		体育館	H19.3	1,139	R	新耐震基準	-
		その他	H19.3	179			
			計	7,910			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
49	七国小学校	校舎 1	H15.3	6,514	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H17.11	465	S	新耐震基準	-
		校舎 3	H26.2	873	R	新耐震基準	-
		体育館	H15.3	1,029	R	新耐震基準	-
		その他	H15.3	152			
		計		9,033			
50	浅川小学校	校舎 1	S44.3	3,605	R	旧耐震基準	H13、H14
		校舎 2	S54.10	2,687	R	旧耐震基準	-
		体育館	S51.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S58.12	149			
		計		7,140			
51	東浅川小学校	校舎 1	S52.3	3,377	R	旧耐震基準	H13
		校舎 2	S52.3	907	R	旧耐震基準	-
		校舎 3	H29.1	1,059	R	新耐震基準	-
		体育館	S52.5	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S52.3	250			
		計		6,292			
52	由木中央小学校	校舎 1	S49.8	5,103	R	旧耐震基準	H10
		校舎 2	S56.1	738	R	旧耐震基準	-
		体育館	H21.10	1,304	R	新耐震基準	-
		その他	S49.8	308			
		計		7,453			
53	由木東小学校	校舎 1	S47.3	4,024	R	旧耐震基準	H16
		校舎 2	H19.2	976	R	新耐震基準	-
		校舎 3	H29.12	783	R	新耐震基準	-
		体育館	S51.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	H6.7	556			
		計		7,038			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
54	由木西小学校	校舎 1	S51.3	3,106	R	旧耐震基準	H18
		体育館	S51.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S51.3	195			
			計	4,000			
55	鹿島小学校	校舎 1	S51.3	4,040	R	旧耐震基準	H18
		校舎 2	S57.3	365	R	新耐震基準	-
		体育館	S51.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S51.3	111			
			計	5,215			
56	松が谷小学校	校舎 1	S51.3	4,404	R	旧耐震基準	H17
		体育館	S51.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S51.3	118			
			計	5,221			
57	中山小学校	校舎 1	S55.3	3,316	R	旧耐震基準	H17
		体育館	S55.5	697	S	旧耐震基準	H25
		その他	S55.3	144			
			計	4,157			
58	柏木小学校	校舎 1	S58.3	4,776	R	新耐震基準	-
		体育館	S58.3	700	S	新耐震基準	-
		その他	S58.2	140			
			計	5,616			
59	南大沢小学校	校舎 1	S60.3	5,406	R	新耐震基準	-
		体育館	S60.3	700	S	新耐震基準	-
		その他	S60.2	126			
			計	6,232			
60	宮上小学校	校舎 1	H1.3	5,338	R	新耐震基準	-
		体育館	H1.3	798	S	新耐震基準	-
		その他	H1.3	137			
			計	6,273			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
61	秋葉台小学校	校舎 1	H2.3	4,624	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H28.3	665	R	新耐震基準	-
		体育館	H2.3	814	S	新耐震基準	-
		その他	H2.3	121			
			計	6,224			
62	別所小学校	校舎 1	H4.3	5,345	R	新耐震基準	-
		体育館	H4.3	819	S	新耐震基準	-
		その他	H4.3	158			
			計	6,322			
63	愛宕小学校	校舎 1	H6.3	4,345	R	新耐震基準	-
		体育館	H6.3	818	S	新耐震基準	-
		その他	H6.3	169			
			計	5,332			
64	松木小学校	校舎 1	H6.3	4,644	R	新耐震基準	-
		体育館	H6.3	910	S	新耐震基準	-
		その他	H6.3	193			
			計	5,747			
65	下柚木小学校	校舎 1	H7.3	4,849	R	新耐震基準	-
		体育館	H7.3	825	S	新耐震基準	-
		その他	H7.3	162			
			計	5,836			
66	上柚木小学校	校舎 1	H7.3	5,670	R	新耐震基準	-
		体育館	H7.3	820	S	新耐震基準	-
		その他	H7.3	193			
			計	6,683			
67	長池小学校	校舎 1	H9.3	5,621	R	新耐震基準	-
		体育館	H9.3	873	S	新耐震基準	-
		その他	H9.3	164			
			計	6,658			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
68	鏡水小学校	校舎 1	H10.3	6,026	R	新耐震基準	-
		体育館	H10.3	908	S	新耐震基準	-
		その他	H10.3	202			
			計	7,136			
69	第一中学校	校舎 1	S42.3	2,585	R	旧耐震基準	H22
		校舎 2	S43.3	966	R	旧耐震基準	H22
		校舎 3	S39.3	261	R	旧耐震基準	H22
		校舎 4	S48.3	1,927	R	旧耐震基準	H22
		校舎 5	S57.3	721	R	新耐震基準	-
		体育館	S57.3	853	R	新耐震基準	-
		その他	S42.3	293			
			計	7,606			
70	第二中学校	校舎 1	S42.7	1,675	R	旧耐震基準	H22
		校舎 2	S48.3	2,366	R	旧耐震基準	H22
		校舎 3	S49.8	2,252	R	旧耐震基準	H22
		体育館	H25.8	1,138	R	新耐震基準	-
		その他	S42.7	294			
			計	7,725			
71	第四中学校	校舎 1	S38.3	4,248	R	旧耐震基準	H23、H24
		校舎 2	S50.3	1,201	R	旧耐震基準	H24
		体育館	H19.3	1,136	R	新耐震基準	-
		武道場	H22.9	330	R	新耐震基準	-
		その他	S39.9	355			
			計	7,270			
72	第五中学校	校舎 1	H23.3	6,532	R	新耐震基準	-
		体育館	H23.3	1,075	R	新耐震基準	-
		その他	H23.3	162			
			計	7,769			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
73	第六中学校	校舎 1	S48.3	2,689	R	旧耐震基準	H18
		校舎 2	H19.12	2,240	R	新耐震基準	-
		体育館	H19.12	1,132	R	新耐震基準	-
		その他	S53.6	318			
			計	6,379			
74	第七中学校	校舎 1	S49.8	2,301	R	旧耐震基準	H18
		校舎 2	S52.1	2,474	R	旧耐震基準	H18
		校舎 3	S53.3	842	R	旧耐震基準	H18
		体育館	H21.3	1,158	R	新耐震基準	-
		武道場	H22.9	310	R	新耐震基準	-
		その他	S40.3	475			
			計	7,560			
75	ひよどり山中学校	校舎 1	S53.3	3,361	R	旧耐震基準	H20
		校舎 2	H2.6	159	S	新耐震基準	-
		体育館	S53.3	699	S	旧耐震基準	H25
		武道場	H22.9	307	R	新耐震基準	-
		その他	S53.3	268			
			計	4,794			
76	甲ノ原中学校	校舎 1	S56.2	3,381	R	旧耐震基準	H23
		校舎 2	S56.2	883	R	旧耐震基準	-
		校舎 3	S58.3	230	R	新耐震基準	-
		体育館	S56.2	747	R	旧耐震基準	H22
		その他	S56.2	119			
			計	5,360			
77	石川中学校	校舎 1	S58.3	5,371	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H10.3	291	S	新耐震基準	-
		体育館	S58.3	731	S	新耐震基準	-
		武道場	H22.9	367	R	新耐震基準	-
		その他	S58.3	131			
			計	6,891			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
78	横山中学校	校舎 1	H21.8	5,853	R	新耐震基準	-
		体育館	H21.8	1,022	R	新耐震基準	-
		武道場	H21.8	304	R	新耐震基準	-
		その他	H21.8	182			
			計	7,361			
79	長房中学校	校舎 1	S49.3	6,572	R	旧耐震基準	H19
		体育館	S49.5	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S49.11	209			
			計	7,480			
80	館中学校	校舎 1	S50.3	3,792	R	旧耐震基準	H19
		校舎 2	S59.3	1,041	R	新耐震基準	-
		体育館	S50.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S50.3	173			
			計	5,705			
81	梶田中学校	校舎 1	S53.3	5,249	R	旧耐震基準	H21
		校舎 2	S61.8	535	R	新耐震基準	-
		校舎 3	H2.3	529	R	新耐震基準	-
		体育館	S53.5	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S53.3	275			
			計	7,287			
82	元八王子中学校	校舎 1	S48.3	3,799	R	旧耐震基準	H18
		校舎 2	S59.12	743	R	新耐震基準	-
		校舎 3	S44.3	1,865	R	旧耐震基準	H18
		校舎 4	H24.3	162	S	新耐震基準	-
		体育館	H25.2	1,135	R	新耐震基準	-
		その他	H12.7	209			
			計	7,913			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
83	四谷中学校	校舎 1	S50.8	5,585	R	旧耐震基準	H19
		体育館	S51.5	699	S	旧耐震基準	H25
		武道場	H22.9	307	R	新耐震基準	-
		その他	S51.6	185			
			計	6,776			
84	横川中学校	校舎 1	S55.3	3,990	R	旧耐震基準	H23
		体育館	S55.3	699	S	旧耐震基準	H23
		その他	S55.3	168			
			計	4,857			
85	城山中学校	校舎 1	S58.3	4,865	R	新耐震基準	-
		体育館	S57.12	729	S	新耐震基準	-
		その他	S58.3	156			
			計	5,750			
86	恩方中学校	校舎 1	S48.11	2,376	R	旧耐震基準	H24
		校舎 2	S55.3	1,832	R	旧耐震基準	H24
		校舎 3	S58.3	817	R	新耐震基準	-
		体育館	S46.3	840	S	旧耐震基準	H24
		その他	S48.11	205			
			計	6,070			
87	川口中学校	校舎 1	S42.3	1,859	R	旧耐震基準	H24
		校舎 2	S47.8	2,163	R	旧耐震基準	H24
		校舎 3	H5.2	134	S	新耐震基準	-
		校舎 4	S56.3	1,559	R	旧耐震基準	-
		校舎 5	S61.12	363	R	新耐震基準	-
		体育館	S43.3	828	S	旧耐震基準	H24
		武道場	H22.9	307	R	新耐震基準	-
		その他	S51.5	99			
			計	7,312			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
88	檜原中学校	校舎 1	S51.8	4,676	R	旧耐震基準	H20
		体育館	S51.11	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S51.8	393			
			計	5,768			
89	加住中学校	校舎 1	S48.2	2,755	R	旧耐震基準	H18
		校舎 2	S57.2	1,003	R	新耐震基準	-
		体育館	S48.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S43.3	366			
			計	4,823			
90	由井中学校	校舎 1	S41.3	2,179	R	旧耐震基準	H23
		校舎 2	S51.2	1,755	R	旧耐震基準	H23
		体育館	S42.3	838	S	旧耐震基準	H22
		その他	S51.2	1,879			
			計	6,651			
91	打越中学校	校舎 1	S49.3	6,075	R	旧耐震基準	H20
		校舎 2	S61.3	427	R	新耐震基準	-
		体育館	S49.6	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S49.3	261			
			計	7,462			
92	みなみ野中学校	校舎 1	H9.3	5,157	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H21.3	387	R	新耐震基準	-
		体育館	H9.3	1,149	R	新耐震基準	-
		武道場	H22.9	449	R	新耐震基準	-
		その他	H9.3	198			
			計	7,340			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
93	七国中学校	校舎 1	H15.2	5,931	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H27.3	619	R	新耐震基準	-
		体育館	H15.2	1,109	R	新耐震基準	-
		武道場	H15.2	269	R	新耐震基準	-
		その他	H15.2	197			
		計		8,125			
94	浅川中学校	校舎 1	S49.2	4,246	R	旧耐震基準	H18
		校舎 2	S45.3	674	R	旧耐震基準	H18
		体育館	S53.3	699	S	旧耐震基準	H24
		その他	S25.8	201			
		計		5,820			
95	陵南中学校	校舎 1	S60.3	5,581	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H1.3	424	R	新耐震基準	-
		体育館 1	S60.3	731	S	新耐震基準	-
		体育館 2	H1.3	441	S	新耐震基準	-
		その他	S60.3	147			
		計		7,324			
96	由木中学校	校舎 1	S51.2	5,339	R	旧耐震基準	H19
		校舎 2	S58.1	852	R	新耐震基準	-
		体育館	S53.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S52.3	172			
		計		7,062			
97	松が谷中学校	校舎 1	S51.3	5,168	R	旧耐震基準	H19
		校舎 2	S60.3	630	R	新耐震基準	-
		体育館	S51.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S51.3	181			
		計		6,678			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
98	中山中学校	校舎 1	S55.3	1,871	R	旧耐震基準	H23
		校舎 2	S55.3	3,325	R	旧耐震基準	H23
		校舎 3	S58.6	819	R	新耐震基準	-
		体育館	S55.3	697	S	旧耐震基準	H23
		その他	S55.3	177			
			計	6,889			
99	南大沢中学校	校舎 1	S58.2	6,245	R	新耐震基準	-
		体育館	S57.11	729	S	新耐震基準	-
		その他	S58.2	113			
			計	7,087			
100	宮上中学校	校舎 1	H1.3	6,150	R	新耐震基準	-
		体育館	H1.3	974	S	新耐震基準	-
		その他	H1.3	236			
			計	7,360			
101	別所中学校	校舎 1	H2.3	5,250	R	新耐震基準	-
		体育館	H2.3	974	S	新耐震基準	-
		その他	H2.3	158			
			計	6,382			
102	上柚木中学校	校舎 1	H6.3	5,945	R	新耐震基準	-
		体育館	H6.3	994	S	新耐震基準	-
		その他	H6.3	386			
			計	7,325			
103	松木中学校	校舎 1	H6.3	4,976	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H18.2	588	S	新耐震基準	-
		体育館	H6.3	980	S	新耐震基準	-
		武道場	H22.9	450	R	新耐震基準	-
		その他	H6.3	286			
			計	7,280			

No	学校名	建物 区分	建築 年月	面積 (㎡)	構造 区分	耐震基準	耐震改修 年度
104	鍮水中学校	校舎 1	H10.3	4,156	R	新耐震基準	-
		校舎 2	H10.3	1,774	R	新耐震基準	-
		体育館	H10.3	949	S	新耐震基準	-
		武道場	H10.3	363	S	新耐震基準	-
		その他	H10.3	136			
		計		7,378			
105	高尾山学園	校舎 1	S50.3	4,637	R	旧耐震基準	H15
		体育館	S50.3	699	S	旧耐震基準	H25
		その他	S50.3	105			
		計		5,441			
106	いずみの森義務教育学校	校舎 1	R2.7	14,055	R	新耐震基準	-
		体育館	R2.7	2,277	R	新耐震基準	-
		計		16,332			
107	学校給食センター元八王子	共同調理場	R2.3	1,909	S	新耐震基準	-
108	学校給食センター南大沢	共同調理場	R2.3	1,710	S	新耐震基準	-
109	(仮称)学校給食センター(元横山)	共同調理場	R3(予定)	-	S	新耐震基準	-
110	(仮称)学校給食センター(橋原)	共同調理場	R5(予定)	-	S	新耐震基準	-
111	(仮称)学校給食センター(寺田)	共同調理場	R6(予定)	-	S	新耐震基準	-

令和3年(2021年)3月策定

八王子市教育委員会

〒192-8501

八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話 042-626-3111